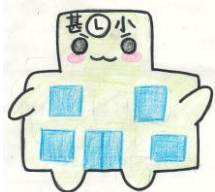


甚小だより



あま市立甚目寺小学校
17号
平成24年12月21日



甚小オリジナルキャラクター決定

平成22年度の甚小児童会は、学校全体に募集をかけ「甚小なかよし宣言」を公表しました。その宣言は、現在も引き継がれ、機会あるごとに全体で唱和しています。23年度の児童会は、ペットボトルキャップとアルミ缶の回収日を「カン曜日」とうたって、回収日を設定しました。これも受け継がれ、現在もあいさつ運動の日に児童会役員が校門近くで、回収しています。そして、24年度の児童会は、甚小オリジナルキャラクターを全校に公募して作成しました。児童会役員が選んだ優秀作品を、12月10日(月)に紹介した後、全員が投票しました。なお、内容によって投票は2種類行われました。まず部門ごとに一つを選びました。部門は甚小部門、甚目寺特産部門、甚目寺観音部門の3部門から一つ選ばれました。

甚小部門 最優秀賞 「じんちゃん」



甚目寺小の校舎を
かわいくイメージさ
れた作品です。

作者：宮川花凜さん (6年)

甚目寺特産部門 最優秀賞



「双子のまつなちゃんとおやきくん」

甚目寺の特産の小松菜のおやきを
かわいくイメージされた作品です。

作者：日比野優香さん (6年)



甚目寺観音部門 最優秀賞 「カラフルじももん」

甚目寺観音の三重の塔をカラフルにしてかわいくイメージされた作品です。

作者：河村真央さん (3年)

また、8作品の中から甚小オリジナルキャラクターとして、投票された結果は下記のようにになりました。第1位は、6年宮川花凜さんの「じんちゃん」、第2位は、2年林絵里香さんの「つきやまん」、第3位は、5年丹羽孝介さんの「三重の父さん」に決定しました。

この結果、児童会より「じんちゃん」を2年間、甚小オリジナルキャラクターとして、認定され、初代キャラクターとして今後の活用が期待されています。

歌声集会で今年の歌い納め？

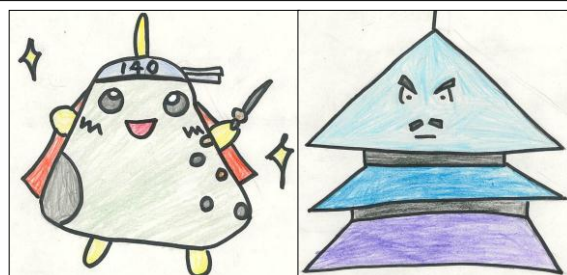


DO MY BEST (歌詞)

ぼくなんて 何をやってもどうせだめ
だめだと決めつけてしまった時に
明日への道はきえる

今ここに生まれたのは
一人ずつ かがやく ときがあり
そのかがやきで いのちをてらすため
見つけよう 自分が生まれた意味を
意味をさがしてゆこうよ

月替わりで「今月のうた」を選曲し、年間を通し朝の会などに全校で歌ってきた歌を紹介する集会在、20日(木)にありました。全校で「でこぼこ行進曲」を歌ってから、低学年(1~3年)の発表曲「DO MY BEST」の発表がありました。高学年の児童からは、「元気よく楽しく歌えていました」と感想がありました。次に、高学年(4~6年)の発表曲「そして ぼくらは地球」の発表がありました。低学年の児童からは、「きれいな歌声で歌えて



左：つきやまん 右：三重の父さん



そして ぼくらは地球 (歌詞)

この世界に生まれ ほんの少ししか
生きている時間を感じていないけど
ぼくらのいのちは
この星が宇宙に生まれてから
そのときから つながっている

だれかのためにすてきなことをすれば
それはいつか地球にふりそそぐよ

ぼくらは風 空飛ぶ鳥 海を泳ぐ魚
そして ぼくらは地球

いました」と感想がありました。